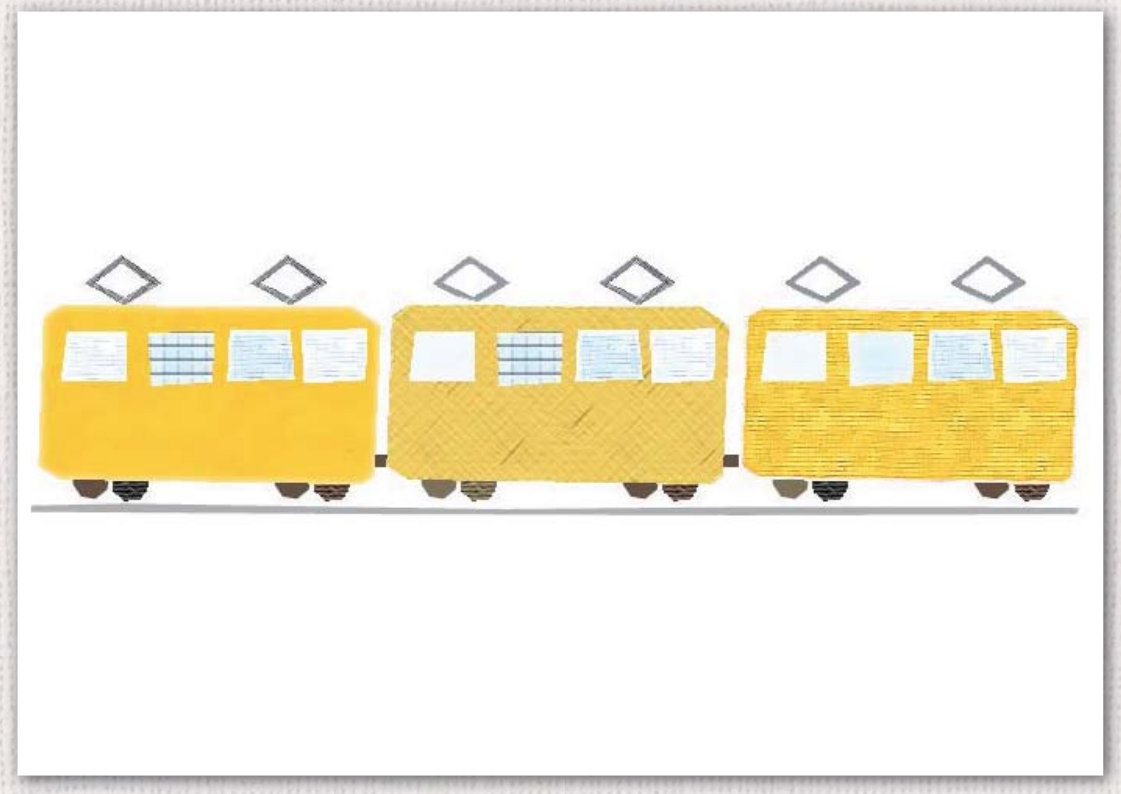
としくんのお仕事



お母さんっ子のとしくんは、
音楽を聴いたり洋画を見たり、
乗り物や麺類、お寿司が大好き。

そんなとしくんには、
苦手なことがたくさんあります。
環境や状況の変化、
順序立てて物事を考えたり
覚えたりすること、しゃべること…。
そして、我が強くて、こうすると決めたら
譲れません。

なぜなら、
生まれつき重い知的障がいがあるから―。

でも、お母さんや３つ年上のお姉さんたち
家族にとっては、おしゃべりができなくても、
変わった行動があっても当たり前。みんな、
としくんが大好きなのです。

としくんは、あま～い香りが漂う
お菓子屋さんで働いています。
ここには、障がいがある人もない人も
一緒に働いています。
としくんのお母さんやお姉さんもいます。

としくんが任されている仕事は、
シールはがしです。
クッキーやパウンドケーキ、パンなどの
商品を入れる袋に貼るシールを、
台紙からはがすのです。
きれいに貼ることはできないので、
シールをはがして、貼る係の人に手渡します。
作業は、だいたい５人が１チームになって
行います。

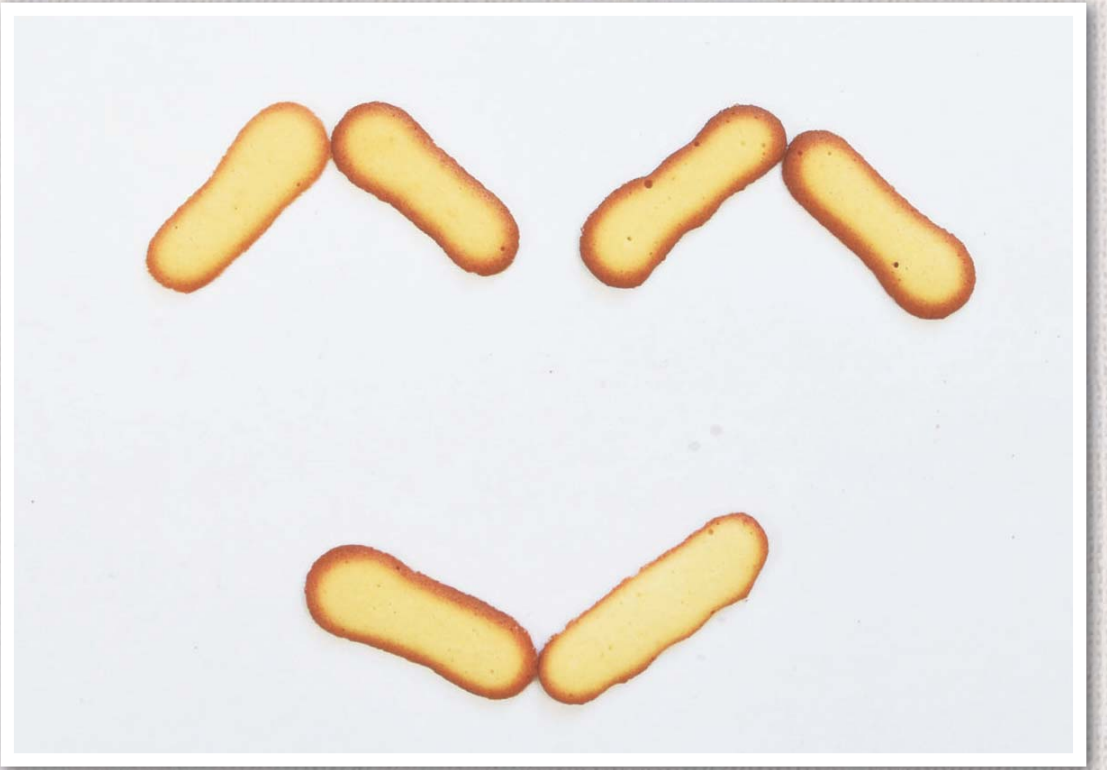
チームがいつもの決まった人たちによる
“最強布陣”だと、
とてつもない集中力を発揮するとしくん。
でも、チームの誰かが休んだり抜けたりすると、
作業のリズムが狂うので、
イライラしたり、怒り出したり。

小さなストレスが積み重なると、
窓を叩いたりしてパニックになることもあります。
みんながどれだけ気分転換させようとしても
落ち着きませんが、
お母さんだと聞く耳を持ちます。
自分の思いを伝えたい、
何かしてほしいと甘える相手は、
やっぱりいつでも大好きな
お母さんだけなのです。

でも最近、
としくんは、怒り出すことが
少なくなってきました。
作業に見慣れない人が
加わってもイライラせず、
その人にシールを渡すことが
できるようになってきました。

それだけではありません。
人の会話を聞いて、
「キャキャキャキャッ」とうれしそうに
笑うことも多くなりました。
人に顔を近づけてみたり、
トントンと肩を叩いて
ちょっかいを出してみたり、
人がしている作業に興味を持ち出したり。

どうしてかなぁ？



そんなある日のこと。
としくんは、作業を始める時間になっても、
別の所にいて
一向に来る気配がありませんでした。
今はしないと思ったら
簡単には動かないことを、
みんなはよく知っています。
お母さんの出番かなと思っていたそのとき、
女性の職員さんが言いました。

「としくん、始めるよ～」

するとどうでしょう。
その声を聞いた途端、としくんは
仕事の定位置に戻り、作業を始めました。
その様子を見ていたお姉さんはびっくり！
「機嫌が悪いときでも、
お母さんじゃない人の話を聞いて
落ち着くことができるようになったんだ！」

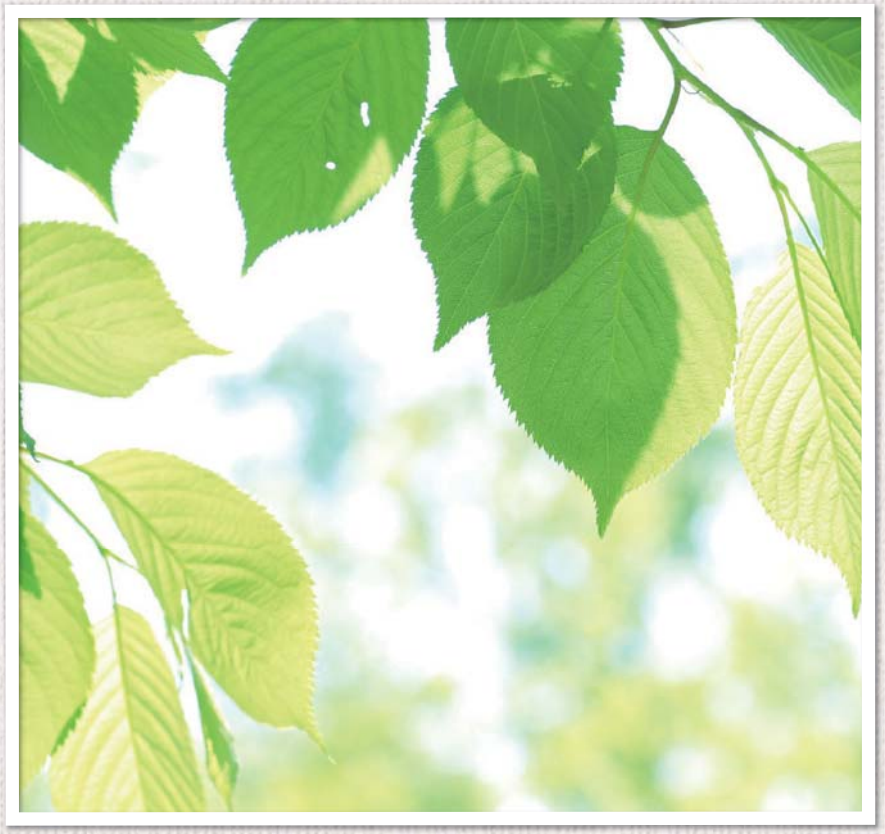
そして、お母さんに伝えました。

重度の知的障がいがあっても、
生まれ育った地域で暮らしていくことが
できるよう、
ささやかでも仕事をさせたい―。
いつも、思っていたお母さんの喜びは
どれほどだったことでしょう。

お菓子屋さんに勤めて10年以上。
環境の変化に弱いとしくんも、
ゆっくりと時間を掛けながら、
でも着実に自分の世界や興味の幅、
大好きな人たちとのつながりを広げ、
深めていたのです。

としくんが働くお菓子屋さんの名前には、
“未来を描く”という思いが込められています。

としくんはこれから、どんな未来を描いていくのでしょう。
家族、仲間、地域の人たちは温かく寄り添いながら、楽しみにしています。



「知的障がい」について

発達期になんらかの原因で知的な能力が年齢相応に発達していない状態、および社会生活への適応に困難があります。「言葉を使う」「記憶する」「人とのやりとり」に少し時間を要します。周囲の理解や支援で一歩一歩成長できる可能性を持っています。

★こんな配慮がうれしい！

◇ゆっくり簡単な言葉で話しかける
◇危険なシーンを目の当たりにしたらやさしく声をかける
◇パニック行動が起きたときは、落ち着ける場所へ誘導
◇誤解されやすい行動をする場合があるので、
　思い込みで判断せず見守る

あとがき

2004年4月、鳥取県西部に小規模作業所が誕生したとき、取材した。記事の見出しには「重度知的障害の息子に未来を描く菓子屋さん／母親が10年かけ開所」。としくんの母親が立ち上げた作業所だった。当時、としくんは18歳。訪れた私の服をつねったりして、関心を表現してくれた。今回のデジタル絵本取材で久しぶりに訪れた先にいたのは、作業に集中し、仲間と協力し合う28歳のとしくん。カメラを向けると、笑顔まで見せてくれた。その成長に驚くと同時に、支え続けている家族や仲間の存在の大きさに胸が熱くなった。としくんが働くお菓子屋さんのクッキーは、みんなの気持ちが詰まった優しい味がした。（井）